

各位

会社名 FDK株式会社  
代表者名 代表取締役社長 長野 良  
(コード番号：6955、東証スタンダード)  
問合せ先 経営企画室長 柳田 幸一  
(TEL. 03-5715-7400)

## 持分取得（子会社化）および特別利益の発生に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、株式会社三徳（兵庫県神戸市東灘区、以下「三徳」）の子会社である包頭三徳電池材料有限公司（中華人民共和国内蒙古自治区包頭市、以下「BSBM」）の三徳出資持分の全てを取得することについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 持分取得の理由

当社グループでは、FDK グループ戦略 Framework「10年の計」の下で、中期事業計画「R2（2023-2025年度）」を策定しており、ニッケル水素電池事業を既存三大事業の一つとして位置付けております。今後、同事業の基盤強化を図る上では、主要原材料である水素吸蔵合金の安定確保が必要不可欠です。

今回のBSBMの出資持分取得により、BSBMで培われた水素吸蔵合金の製造・開発に関する技術と当社が持つニッケル水素電池の開発力、販売網を融合することにより、競合他社との更なる差別化と、世界No.1シェア<sup>(\*)</sup>をより強固なものにしていきたいと考えております。また、これからの水素社会に対応し、水素貯蔵分野で世界に誇れるグループに成長させてまいります。

#### 2. 異動する子会社（BSBM）の概要

(1) 名称	包頭三徳電池材料有限公司	
(2) 所在地	中華人民共和国内蒙古自治区包頭市稀土高新技术産業開発区稀土大街 21号	
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 平 幸夫	
(4) 事業内容	電池材料、希土合金の生産と販売。 電池材料、希土合金とその原料の貿易。 タングステン・モリブデン製品、コランダム製品、アルミナ原料、 グラファイト製品用副材料に関する貿易。	
(5) 資本金	56 百万人民元 (1,154 百万円)	
(6) 設立年月日	2001 年 2 月 15 日	
(7) 大株主および持分比率	三徳： 94.4% 内蒙古高新控股有限公司： 5.6%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社は三徳を通じてBSBMの製品を購入しております。
(9) 純資産	87 百万人民元 (1,801 百万円) (2022 年 12 月期)	
(10) 総資産	139 百万人民元 (2,875 百万円) (2022 年 12 月期)	
(11) 売上高	166 百万人民元 (3,427 百万円) (2022 年 12 月期)	

※1 人民元=20.61 円 (2023 年 11 月末レート<直近月末レート>) で換算した参考値です。

### 3. 持分取得の相手先の概要

(1) 名称	株式会社三徳	
(2) 所在地	兵庫県神戸市東灘区深江北町四丁目 14 番 34 号	
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 角田 達彦	
(4) 事業内容	希土化合物、希土メタル、磁石材料、電池材料の製造・販売	
(5) 資本金	1,500 百万円	
(6) 設立年月日	1949 年	
(7) 大株主および持株比率	株式会社プロテリアル 100%	
(8) 上場会社と当該会社との関係	資本関係	該当事項はありません。
	人的関係	該当事項はありません。
	取引関係	当社は三徳の製品を購入しております。
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

### 4. 取得出資持分、取得価額および取得前後の出資持分の状況

(1) 異動前の出資持分	0%
(2) 取得持分	94.4% (三徳出資持分の全て)
(3) 取得価額	52,866,500 人民元相当額の日貨 (1,089 百万円)
(4) 異動後の出資持分	94.4%

※1 人民元=20.61 円 (2023 年 11 月末レート<直近月末レート>) で換算した参考値です。

### 5. 日程

(1) 取締役会決議日	2023 年 12 月 1 日
(2) 出資持分譲渡契約締結日	2023 年 12 月 1 日
(3) 持分譲渡効力発生日	2024 年 2 月下旬 (予定)

### 6. 今後の見通し

本出資持分取得により、2024 年 3 月期第 4 四半期連結会計期間において負ののれん発生益として約 5 億円の特別利益が見込まれますが、金額は精査中です。本出資持分取得が当社の連結業績に与える影響等については、影響金額の詳細が確定し次第、速やかにお知らせいたします。

\*1: ニッケル水素電池 (小型) 2020 年実績。富士経済発行「2022 電池関連市場実態総調査<上巻・電池セル市場編>」より

以 上